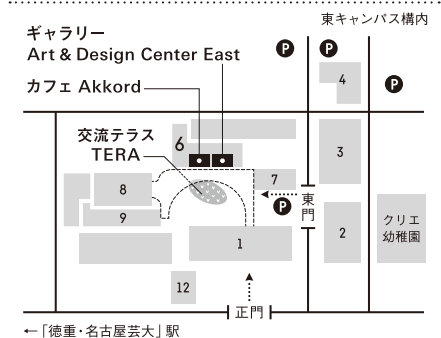
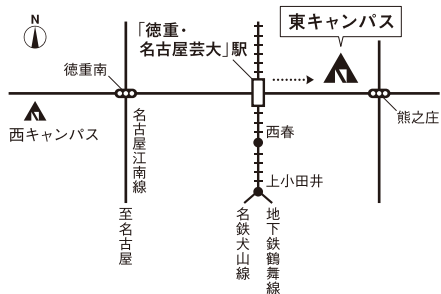


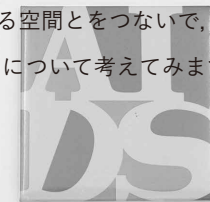
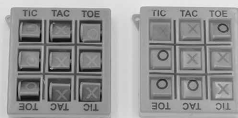


[ギャラリーとカフェ Akkordへのアクセス]

東キャンパスまで名鉄犬山線「徳重・名古屋芸大」駅より東へ徒歩約8分。
Art & Design Center Eastへは正門より1号館を抜けて交流テラスTERAへ。
お車の方は駐車場より東門を入りTERAに向かってください。

主催：科学研究費「ヴィジュアルリテラシー普及にむけた基準策定とツールの開発」
共催：ヴィジュアルリテラシー研究会
企画・インフォメーショングラフィクス：茂登山清文
アーカイヴ設計・制作：遠藤麻里
グラフィックデザイン：金武智子
スタッフ：LAASSH
協力：谷野大輔、内藤友宏
後援：名古屋芸術大学・芸術教養領域

お問合せは、QRコードよりフォームにてご連絡ください。



ギャラリーと生活空間をつなぐ展示とワークショップ

アナザー・サイト 見つけ、観て、解釈する

2021.10.12 tue. - 20 wed. 11:00-17:00 入場・参加：無料

会場：名古屋芸術大学東キャンパスギャラリー Art & Design Center East, カフェ Akkord, ほか
URL <http://fond.visualliteracyjapan.net/>

私たちは、さまざまなモノに絶え間なく眼をやり、情報を得て、日々を過ごしています。

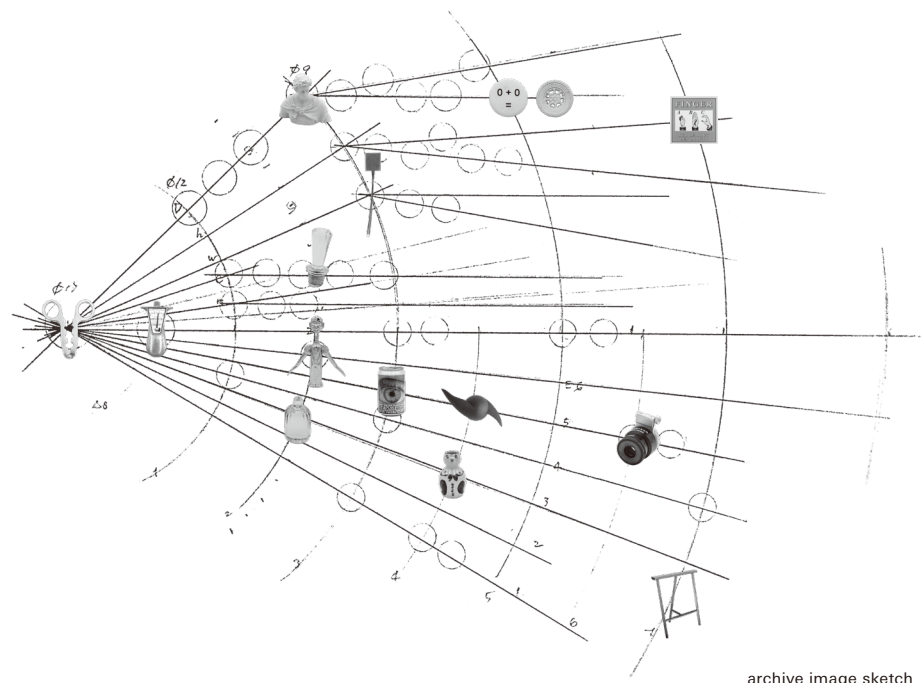
ですが、見るという当たり前の行為を、どれほど意識し、理解しているでしょうか？

この企画「アナザー・サイト」は、ギャラリーと私たちが生活する空間とをつないで、
目の前に実在する物を見ながら、彼方にあるものを「見る」ことについて考えてみます。

アナザー・サイト 見つけ、観て、解釈する

名古屋芸術大学東キャンパスギャラリー (Art & Design Center East, 10月12日[火]–20[水])
には、アートから道具、意味不明の物まで、企画者が選んだ眼を楽しませてくれる魅力的な人工物が展示されます。また、参加者は、オンラインで、あるいはギャラリーに来てお好きな物を登録できます。それらの写真と属性はアーカイヴ化され、会期中、ウェブサイトで見ることができます。

展示とアーカイヴをベースに、右のプログラムがおこなわれます。展示を希望される方、参加を希望される方は、QRコードにアクセスし、フォームで申し込んでください。



archive image sketch

プログラム

10月12日[火]
14:00–16:00

- ギャラリー
- カフェ Akkord

ギャラリーでのワークショップ 「キャプションが世界をつくる」

美術館で作品に添えられている「キャプション」。もしあなたならどんなタイトル、解説をつけますか？展示物をじっくり見たり、触ったりして、皆さんの自由な発想を形にしましょう。

会場：ギャラリー Art & Design Center East, カフェ Akkord
企画：LAASSH (加藤あん／加藤紗希／松尾咲希／山口穂乃香)
参加者：10名 (先着順)

10月16日[土]
14:00–16:00

- オンライン

オンライン・ワークショップ 「展示物を感じる」

オンラインを通して、ギャラリーの展示物を観賞します。その時に、参加者は、自分の生活空間にある物を手元に置いてアクセスしてもらいます。

アクセスサイト：<http://fond.visualliteracyjapan.net/>
参加者：10名 (先着順)
*参加にあたっては、インターネットにつなぐ環境、スマートフォンなどが必要です。

10月20日[水]
15:00–16:00

- カフェ Akkord

企画者によるトーク 「見ることのリアリティについて」

「アナザー・サイト」の企画者が、オンラインの時代において、「見ること」がどのようなリアリティを持ちうるのか、考察の一端を講義します。

会場：カフェ Akkord
スピーカー：茂登山清文 (名古屋芸術大学芸術教養領域教授)
参加者：10名 (先着順)

- * 参加募集や参加の仕方、その他の情報については企画のURLを適時ご覧ください。
- * 来場される方は検温・マスク・消毒のご協力をお願いします。
- * 新型コロナウイルス感染症の影響等により、企画の変更、会期の延期、中止をする場合があります。
- * ギャラリー、ウェブ展示への出品について、プログラムの趣旨、空間のキャパシティなどを考慮して、展示をお断りすることがあります。
- * この企画は、JSPS 科研費 18H00640 の助成を受けたものです。